

### 1 PLAN(目的・概要)

政策名	環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり		30年度事業・施策評価結果		責任者	港営部 関連事業担当課長	
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成		成果	コスト			
事務事業名	臨港緑地の管理・運営				連絡先	052-654-7836	
目的	対象(誰・何を)	広く一般の利用者			事業期間	平成18年度～	
	意図(どうい う状態にしたいか)	にぎわいや憩いの空間を提供します。					
概要	臨港緑地の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。					根拠法令等	指定管理者による公の施設の管理に関する条例 名古屋港管理組合 臨港緑地条例
令和元年度の実施予定	臨港緑地の提供を行い、施設を良好に管理しながら、更なる利用促進に努めていきます。					実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
						関連シート	

### 2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	臨港緑地の提供を行い、施設を良好に管理しながら、更なる利用促進に努めました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	262,899	333,649	510,669	369,072	
人件費	千円	23,986	28,671	28,531	27,063	
合計	千円	286,885	362,320	539,200	396,135	

### 3 CHECK(検証)

成果目標名	29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
利用者数(万人) (単年度管理型)	目標	38.1	41.7	56.2	58	過去の実績等を踏まえた目標利用者数 全緑地(野球場6面、テニスコート8面、運動広 場5面、サイクリングロード、マリパーク(魚釣 り施設含む)、ゴルフ場)の利用者数の合計	天候
	実績	52.2	52.0	53			
利用者の満足度(%) (単年度管理型)	目標			76	80	利用者へのアンケート実施結果	
	実績			83			
事業進捗状況(元年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	利用者数は、10月の台風や3月の新型コロナウイルス等の影響があり、目標値を下回ったものの、取組が功を奏した施設もあり前年度実績を上回りました。利用者の満足度においては、ほぼ目標値どおりの評価を得ました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 港湾の緑地を整備し運営することは、港湾管理者の責務であり、本組合の関与が必要と考えます。また、運動施設・緑地等の管理・運営により、港のにぎわいと憩いの空間の創出につながっていきます。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○ 台風や新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は目標を下回りましたが、多くの人々に利用されており、施策達成に貢献しています。					
	期待どおりの成果が得られているか?	△					
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 施設の維持修繕等は優先順位を定め、最小のコストで最大の効果が得られるよう努めています。					

### 4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	港湾の緑地の整備運営は、港湾管理者の責務であるため。また、運動施設・緑地等の管理・運営により、港の賑わいと憩いの空間の創出に繋げるため。また、目標値をやや下回るものの、概ね達成しているため成果・コストは維持とします。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			2年度以降の取組
効率的な施設の維持管理に努めるとともに、安心して利用してもらえるよう、感染症の拡大防止対策を強化する必要があります。			モニタリング等を強化し、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスの提供及び感染症の拡大防止対策に努めるよう、指定管理者に対し指導・助言を行います。